

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：数学、物理学、地球科学】

大 学 名	京都大学	整理番号	G - 1
拠点のプログラム名称	先端数学の国際拠点形成と次世代研究者育成		
中核となる専攻等名	数理解析研究所		
事業推進担当者	(リダー) 柏原 正樹 外22名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>数学の原動力は、第一に研究者の直接交流から生まれる異なる分野間の思いがけない結び付きであり、第二に若い頭脳が自由にテーマを選んで研究する中から生まれる新しい発想である。これらを生み出すために、わが国唯一の数学の研究所である数理解析研究所と教育・研究に長年の実績を持つ京都大学数学教室が車の両輪となって国際拠点形成を行なう。具体的には(1)「無限と大域の対称性」「数論と代数幾何の融合」「数理現象の解析」の3研究グループを形成し、それぞれが長期滞在型の国際共同研究等を企画・展開し、さらにグループの枠を越えた研究交流を行なう。(2)若手研究者を数学フェローとして採用し、自由で独立した研究環境と一流研究者との研究上の出会いの中から優秀な人材を育成する。(3)吉田塾・京都オープンスクール等のプログラムにより数学的知識と発想を生かせる人材を社会に供給する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>研究・教育計画は意欲的である。関係者の能力は世界水準に達しており研究交流については十二分実績があり、国際的な研究拠点を推進するポテンシャルは非常に高いと認められる。協力パートナーである数理解析研究所(研究)と数学・数理学専攻(教育)とのユニークな協力態勢による相乗効果が期待できる。</p>			